

# 農地法第3条の規定による許可申請書(別添)記入例

様式第2号の1-②

## 農地法第3条の規定による許可申請書(別添)

### I 一般申請記載事項

1-1

<農地法第3条第2項第1号関係>

権利を取得しようとする者又はその世帯員等が所有権等を有する農地及び採草放牧地の利用の状況

<農地法第3条第2項第5号関係>

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における経営面積(農地・採草放牧地)の状況

特例(集約的に行われる事業等)の該当有無

有  無

\*「有」の場合は、様式第1号-③添付

①今回3条申請し、権利を取得する土地の面積

②現在耕作している自己名義の土地の面積

[経営地]

	今回権利を取得する土地①	所有地		所有地以外の土地		(単位:m <sup>2</sup> )
		自作地②	貸付地	借入地③	貸付地	
田						
畑	500m <sup>2</sup>	100m <sup>2</sup>		200m <sup>2</sup>		800m <sup>2</sup>
樹園地						
計	500m <sup>2</sup>	100m <sup>2</sup>		200m <sup>2</sup>		800m <sup>2</sup>
採草放牧地						

③現在耕作している3条または利用権にて賃借権および使用貸借権を設定した土地の面積

[非耕作地]

	所在・地番	地目		面積(m <sup>2</sup> )	状況・理由
		登記	現況		
非耕作地	所有地	うるま市字具志川〇〇〇番		畑	山林原野 450m <sup>2</sup> 周辺一帯山林原野化しており農地として利用ができない状況
所有地以外の土地					

現在所有している農地で、営農をしていない土地があればその理由を記入

#### (記載要領)

1 「自作地」、「貸付地」及び「借入地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されているものの面積を記載してください。

なお、「所有地以外の土地」欄の「貸付地」は、農地法第3条第2項第6号の括弧書きに該当する土地です。

2 「非耕作地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともに、その状況・理由として、「～であることから条件不利地である」、「賃借人〇〇が〇年間耕作を放棄している」、「～のため〇年間休耕中である」等自らの耕作又は養畜の事業に供することができない旨を詳細に記載してください。

1-2 <農地法第3条第2項第1号関係>

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の機械の所有の状況

(1)作付(予定)作物、作物別の作付面積 …営農計画書の添付

(2)大農機具又は家畜

	大農機具				
	耕うん機	トラクター	農薬散布機	草刈機	その他(ポンプ)
確保	所有 1台	台	台	1台	
	リース 台	台	台	台	
導入	所有 台	1台	1台	台	
	リース 台	台	台	台	
予定	資金繰り 該当するものに○を付すこと 自己資金・金融機関からの借り入れ その他( )				

家畜				
乳牛	肉用牛	豚	鶏	その他( )
頭	頭	頭	羽	

#### (記載要領)

1 「大農機具」とは、トラクター、耕うん機、自走式の田植機、コンバイン等です。「家畜」とは、牛、豚、鶏等です。

2 導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借り入れ(融資を受けられることが確実なものに限る)  
等資金繰りについても記載してください。

様式第2号の1-②

2 <農地法第3条第2項第2号関係>(権利を取得しようとする者が農業生産法人である場合のみ記載)

その法人の構成員等の状況(別紙に記載し、添付してください)

3 <農地法第3条第2項第3号関係>

信託契約の内容(信託の引受けにより権利が取得される場合のみ記載)

4 <農地法第3条第2項第1号及び第4号関係>(権利を取得しようとする者が個人である場合のみ記載)

権利を取得しようとする者又はその世帯員等のその行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況

(「世帯員等」とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族をいいます)

(1) 農作業に従事する者

	氏名	年齢	権利取得者との続柄	職業	農作業従事日数	農作業経験の状況	通作距離・時間
権利取得者 世帯員等その他常時雇用(構成員)	宇留間 憲	32	本人	会社員	300日	農作業5年	2 km · 4分
	恵子	32	妻	会社員	0日	なし	km · 分
	翔太	1	子	無し	0日	なし	km · 分
	宇留間 一	60	父	自営業	150日	農作業20年	2 km · 4分
	現在 :	2名	・ 増員予定 :	0名	(農作業経験の状況 : )		km · 分
臨時雇用	年間延日数	日					
	年間延人数	現在 :	名(農作業経験の状況 : )				
		増員予定 :	名(農作業経験の状況 : )				

譲受人と同世帯の者と一緒に農業をする者を記入

(2) その者の農作業への従事状況(該当する期間(実績又は見込み)を「→」で示してください)

(「農作業に常時従事する期間」とは、その期間、必要な農作業(耕耘、播種、施肥、刈取り等)についても従事できる状態にあることをいいます)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
その行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業の期間	←											→
その者が農作業に常時従事する期間	←											→

(記載要領)

1 農作業経験等の状況の記入例 農作業暦〇〇年、農作業技術修学暦〇〇年

2 通作距離及び距離は、住所地、拠点となる場所等から権利を設定又は移転しようとする土地までの平均距離又は時間を記載してください。

5 <農地法第3条第2項第7号関係>

周辺地域との関係

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼすことが見込まれる影響を以下に記載してください。

(例えば、集落営農や経営体への集積等の取組への支障、農薬の使用方法の違いによる耕作又は養畜の事業への支障等について記載してください)

當農計画は〇〇〇を耕作する予定です。

周辺の土地では、〇〇〇や〇〇〇、〇〇〇が耕作されています。

耕作することによって、付近の土地や農作物等に被害を与えないようにします。

万が一、被害を与えた場合は、地域の農家や農業委員会、その他農業関係者の意見を参考に責任をもって対処します。

- 1.自分が何を耕作するのか。
  - 2.周辺では何が耕作されているか
  - 3.自分が周囲へ支障をきたしたら補償する誓約
- この3点を記入

6 その他参考となるべき事項

當農計画の牧草は自家消費であり、

畜舎は与那城〇〇の口〇〇番にあります。

當農計画が牧草の場合は、畜舎の地番も記入